



# フードバンク関西ニュース

2018年3月12日 第38号

フードバンク関西は企業から寄贈された食品を  
支援を必要とする人達を支える非営利団体に  
無償で分配する活動をしています。

2018年3月12日発行

認定特定非営利活動法人

フードバンク関西

神戸市東灘区深江本町 1-8-16

バレル芦屋101

TEL/FAX 078-855-7025

e-mail foodbank05@yahoo.co.jp

URL <https://foodbankkansai.org/>

## 待望の事務所兼倉庫移転が実現しました！

1月6日に新しい事務所に移転することが出来ました。

神戸市東灘区深江本町1丁目8-16-101 4階建てアパートの1階、フラットスペース60坪です。2006年1月から12年使っていた芦屋市呉川町事務所兼倉庫から引っ越しました。

移転の大きな理由は、前事務所は床面積が全部足しても30坪足らず、2階建て、間仕切り、段差が多く、食品の保管や搬入搬出には不向きで、近年取扱食品量が増加し、天井近くまで積み上げた段ボールの中、作業中のボランティアがすれ違うのも大変、食品の仕分け、検品、箱詰め作業では、文字通り足の踏み場がない有様でした。また冷凍庫の保管スペースを増やしたかったのですが、どう考えても新しい冷凍庫の設置は不可能。2年近く、本気で事務所兼倉庫の移転先を探してきました。物件を見に出かけては、条件が合わずため息の毎日が続きました。

ところが昨年秋、前の事務所からも2キロも離れていない国道43号線のすぐ近く、阪神芦屋駅から徒歩数分という絶好な物件と出会いました。建物前に駐車可能、床面積は約2倍、しかし賃借料は今までの約3倍、原状はスケルトンなので全面的な内装工事を行う必要がありました。賃借料と内装工事、それが大問題でしたが、この出会いを無にしたら機を逃す、清水の舞台から飛び降りる心境で、決断しました。10月に契約、11月下旬から内装工事に入り、12月26日に内装工事終了。1月6日に引っ越し。何とか1月10日から新事務所での平常の活動開始が出来ました。

移転を決意することが出来、内装費用や移転費用を準備できたの

### 事務所移転についての会計報告

今回の事務所移転は、皆様からのご支援で実現できました。ボランティア一同、心から感謝申し上げます。会計報告をいたします。

#### 移転特別会計決算報告

賃借物件敷金・礼金	308万円
不動産仲介料・保証料	60万円
内装工事費用	648万円
冷蔵設備移設費用	46万円
元事務所原状復帰費用	30万円
引越その他の費用	11万円
以上 特別支出合計	1073万円

も、賛助会員として、また私達の活動にご理解をいただき寄付をして下さる皆様のご支援の賜物です。また、オリックス宮内財団様から設備に係る費用の助成金をいただくことが出来、新しい冷凍庫、キャビネット、カゴ車、台車、プリンタなどを設置できる事になりました。

活動環境が整ったので、今の社会の問題をしっかりと把握し、実感として感じている困窮層の拡大それに伴う子どもの貧困問題をまっすぐに見つめ、皆様から預かった食品を大切に有効に活用し、フードバンク関西のセカンドステージ、次の10年を切り拓いて行けるよう、ボランティア一同、力を合わせて努力します。今後とも、変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

(浅葉)



## 広がるフードドライブの取り組み

最近、フードドライブという言葉をよく耳にしませんか？フードドライブとは、賞味期限はまだ残っているけれど、「安売りでたくさん買ったものの、使い切れそうにない」「同じものをたくさん頂いたけれど食べきれない」などの理由で、家庭で使われずに眠っている食品（そのままではやがて賞味期限が切れてゴミ箱行きに・・・）を持ち寄り、集まったものをフードバンクなどに寄付し、そこから必要とする人に届けて活用してもらうという取り組みです。

日本では年間621万トンもの「まだ食べられるのに捨てられる食品」いわゆる食品ロスが発生しており、そのうち約半分の282万トンは家庭から排出されています。家庭からの食品ロスは、生ごみとして出されるので、より分けてリユースやリサイクルすることができません。国も国民全体での食品ロス削減の取り組みを進めるなか、家庭からの食品ロスを削減し、循環型社会実現のために、自治体でもフードドライブに取り組むところが増えてきています。

神戸市は、昨年6月にコープこうべ、ダイエーと連携して、期間を決めて店頭で回収ボックスを置き、一般市民の方に未使用の食品を入れていただくフードドライブを実施し、食品廃棄削減効果を見る実証実験を行いました。川西市、伊丹市では社会福祉協議会などが以前からフードドライブに取り組んでいます。芦屋市でも社会福祉協議会が定期的にフードドライブを実施しており、昨年末からは、西宮市でも取り組みが始められています。



お店でも、コープこうべが阪神・淡路大震災発生の日1月17日に合わせて店頭でフードドライブを実施しました。ダイエーでは、前述した神戸市の実証実験の結果、食品ロス削減に効果があり、市民のみなさんからも継続の希望が多かったことから、全国40店舗（神戸市5店舗、阪神間5店舗）で、今年1月から毎月第3週月曜日から次の日曜日までの7日間にフードドライブの回収ボックスをサービスカウンターに置き、買い物に来た人に食品を入れていただく取り組みを始めています。



フードバンク関西に寄付されたフードドライブの食品

学校でも子どもたちへの食育の一環として、社会の問題を知る機会として、PTA活動の一環として、フードドライブに取り組んでくださっているところもあります。自治会やサークル、フィットネスクラブなどで、定期的または継続的に取り組んでいるところもあります。

フードバンク関西では、ご提供いただいたフードドライブの食品を、主に、生活相談窓口等から要請の入った生活困窮者への緊急食支援や「子ども元気ネットワーク」事業での母子世帯への食支援に活用させていただいています。特にフードドライブで集められた缶詰やレトルト食品はそれらの食支援にとっても需要が高く、有効に活用させていただいています。

家庭で使われずに残っている食品、捨ててしまえば、もったいないだけでなく環境にも負荷がかかります。でも、フードドライブで集めて寄付することにより、誰かの役に立ち、喜んでもらうことができます。家庭での保管食品の整理にもなりますね。ぜひ、店頭やイベントでのフードドライブにご協力ください。また、比較的取り組みやすい社会貢献として、みなさんの職場や学校、グループでイベントとしてフードドライブを企画してみてください。詳しい実施方法などは、お気軽に当法人までお問い合わせください。

### 定期的にフードドライブを実施し、当法人に寄付していただいているところ

毎月第3月曜日から1週間	ダイエー塚口店 ダイエー東芦屋店 グルメシティ芦屋浜店 ダイエー甲南店 グルメシティ阪神西宮店 グルメシティ今津店 グルメシティ摩耶海岸通店 グルメシティ本店 ダイエー六甲道店 グルメシティ灘店
毎月第3週の月曜～金曜（土日祝除く）	芦屋市社会福祉協議会
フードドライブ常設	あまがさき環境オープンカレッジ（尼崎つかしん2号館4階奥） 川西市国崎グリーンセンターゆめほたる

## 兵庫子ども食堂ネットワーク

この1～2年の間に地域に広まり、注目を集めている「子ども食堂」ですが、フードバンク関西では、2016年から子ども食堂支援に取り組み、現在11の子ども食堂に月1回食品を提供して、食材調達の下支えをしています。また、子ども食堂を運営する方々と関わる中で、子ども食堂が横のつながりをもち、情報共有しながら運営の維持向上をはかる必要性を感じ、2017年2月に「兵庫子ども食堂ネットワーク」を立ち上げました。現在45団体が加入しています。当法人は、事務局としてネットワーク会議の取りまとめや、グループメールで助成金情報や他団体のセミナーや勉強会開催の情報、フードバンク関西からの食品提供の情報などを発信し、各子ども食堂の日々の運営に役立てていただいています。子ども食堂運営の方々が顔を合わせて協議するネットワーク会議は、これまで5回開催しました。保険に関する情報提供や新規立ち上げ団体へのアドバイス、テーマに分かれてグループでの話し合いなど、みなさんと相談しながら、参加して少しでも収穫を持ち帰っていただけるよう回を重ねてきました。

第5回のネットワーク会議は、2月26日に芦屋市保健福祉センター多目的ホールにて開催し、子ども食堂、行政企業などのオブザーバーなど50名が参加しました。講師に神戸市立六甲道児童館館長 金坂尚人さんをお迎えして、「こどもの居場所としての子ども食堂」をテーマに1時間余りご講演いただきました。0歳から18歳まで、誰でも自由に出入りできる児童館という「第3の居場所」で、毎日来館する多くの子どもたちや保護者と接して来られた経験から、わかりやすくお話しいただき、第3の居場所だからできること、子どもたちにとってほっこりできること、行きたいところとなるためにどのような配慮が必要か、参考になるところがとてもたくさんありました。

子ども食堂と児童館がお互いの得意とするところを補完し合いながら連携をとることにより、地域での子どもたちの居場所が増えていくことを望みます。



## 第9回ラッフルキルト・抽選会兼懇親会報告

昨年12月7日木曜日夜7時から、神戸市元町にあるホテルモンレー神戸にて、第9回ラッフルキルト抽選会と懇親会を、開催しました。今回は、ラッフル寄付591,000円が寄せられました。寄付をお寄せくださいました皆様、ありがとうございました。いただきました寄付金は、当法人の運営資金として、大切に活用させていただきます。

抽選会と懇親会には、キルトリーダーズ兵庫の先生3人と受け取り団体の皆さん、食品提供企業の担当者の方々、当法人ボランティア、総勢65人が参加し和やかな雰囲気の中で、交流を深めました。キルトリーダーズ兵庫の先生方の合作1点が、児童養護施設愛神愛隣舎に寄贈されました。キルト作品のテーマが「家」ということで、作品を手渡された施設長さんは、とても感動されていたのが印象的でした。

抽選会では、キルトリーダーズ兵庫の先生方の作品1点、協賛企業様からのお食事券や食品ギフト、コーヒーマシン等、特賞10点余りの抽選が次々行われました。当法人キルト同好会の作品も素人作品ながら色を添えました。抽選の結果は翌日当法人のホームページに発表し、翌日大半の賞品を宅配便等により発送致しました。

今秋も、第10回ラッフルキルトを開催いたします。ご協力をよろしくお願いいたします。



## 二つの賞をいただきました！

今年、フードバンク関西は、関西財界セミナー賞 2018 特別賞に選ばれました。

2月9日にその表彰式が、京都国際会館で行われました。当法人がフードバンク事業を、関西において他団体に先駆けて開始し、他のフードバンク団体の設立にも協力したことを評価していただいたものです。表彰式には、副理事長の川崎が出席し、表彰状を受け取り、会場での簡単な活動紹介も行われました。

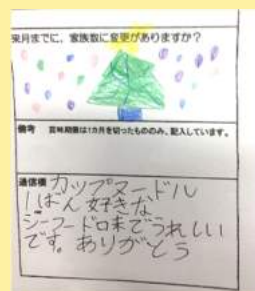
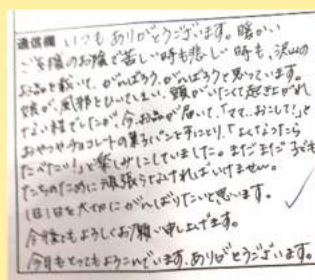
また、時を同じくして、共同通信と地方新聞46社が構成する地域再生大賞実行委員会から地域再生大賞優秀賞に選ばれました。この賞は、フードバンク関西の活動が、地域に元氣と希望を与えたという事が評価されたものです。表彰式は、同じ2月9日、東京千代田区の都市センターホテルで開催され、理事長の浅葉が出席し、表彰状を受け取りました。

いずれの賞も、外部の多くの方達が私達の活動に注目し、働きを評価して下さいましたという事が大変ありがたく、とっても嬉しく感じました。

食べ物を大切にしたいという思いでボランティアが繋がって、コツコツと仕事を積み重ねていけば、誰かがちゃんと見て下さって評価をして下さるという事を実感できました。この二つの賞をいただいた事を励みに、新しい事務所を基地にして、しっかり地域にも根を張って、いきたいと思います。



### 食品を受け取った方々から寄せられたうれしいメッセージ



### 幸せの黄色いレシートキャンペーンにご協力をお願いします

イオン系の量販店で毎月11日、黄色いレシートを、支援したいNPOや福祉団体のボックスに入れると、ボックスに集まったレシートの合計額の1%相当のギフト券がその団体に贈られます。フードバンク関西は、ダイエー東芦屋店、コーヨー南宮町店にボックスを置かせていただいています。2月11日(日)ダイエー東芦屋店にて、お買い物に来られた方へ当法人のボランティアが活動紹介のチラシをお渡しし、レシートをボックスに入れていただくようにアピール活動を行いました。たくさんの方にご協力いただき、ありがとうございました。

### 編集後記

移転後2か月が過ぎました。まだまだ混乱状態、試行錯誤の毎日ですが、徐々に整理されつつあります。表に面した側は全面のガラス張り、明るくて気持ちがいいです。でも夏には西日をまともに受けることになりそうです(泣) (中島)



フードバンク関西はジョンソン・エンド・ジョンソン  
社会貢献委員会の助成を受けて活動しています